

東大和

平成21年(2009年)
1月1日



市議会 だより

222

発行：東大和市議会

編集：議会広報委員会

〒207-8585 東大和市中心3-930

TEL 042(563)2111 FAX 042(563)5926

E-mail: gikai@city.higashiyamoto.lg.jp

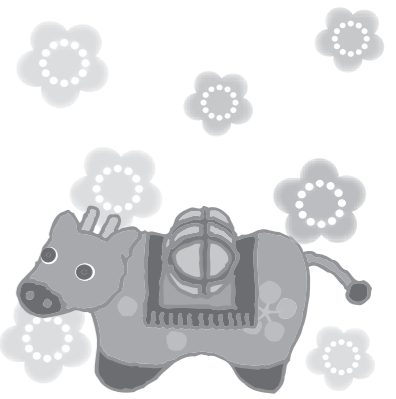


「光輝く未来へ」 撮影：湯本孝平さん（蔵敷在住）

二大下	御殿	中尾	関田	関田	蜂須賀	押本	小林	関野	森田	粕谷	中瀬	長瀬	粕谷	尾崎	西川	吉野	議員 (議席順)	副議長 石川	議長 佐村
宮后	条谷	間崎	田田	田田	賀賀	本本	林野	野野	田田	谷谷	村瀬	り久	利美	崎美	川孝	野孝		庄太郎	村明
由治	一彦	建彦	信二	正夫	千貢	千雅	知修	杜成	憲二	洋右	庄郎	り美	久美	利美	川孝	野孝		庄太郎	村明
子雄	学彦	彦彦	二彦	夫彦	貢彦	雅彦	修彦	成彦	二彦	右彦	郎彦	り美	久美	利美	川孝	野孝		庄太郎	村明

新春を迎えて 今年の抱負

(各会派内の写真は上から)
議席順に掲載しています。



自由民主党

自由民主党は市民生活第一の「責任政党」として 全力で市政改革に取り組みます

一昨年の改選から、早くも折り返し春を迎えることになりました。市民の皆様からいただきましたご支援のもと、市議会第一党として市民の皆様とお約束した政策を実現するべく、また過去の慣例・しがらみにとらわれない大胆な政策を提案し、実現する為に行動することも市議会第一党の責任であると痛切に感じております。



おし もと 修



はせ かつ 千 雅



いし かわ ほう た ろう 庄 太郎



せき た 関 田 貢



せき た まさ た み 関 田 正 民

- ☆聖域なき補助金の見直し
- ☆市民協働による市政運営の推進
- ☆小・中学校の統廃合の推進
- ☆小・中学校校舎・体育館の耐震化の早期完了
- ☆小・中連携モデル校開校の早期実現
- ☆中学校の部活動の市内他校交流の全面開放と専門種目別活動の実現に向けて
- ☆全小学校へのスクールカウンセラーの配置
- ☆学校給食センターの全面的な民間調理委託の実現
- ☆桜が丘地区に学童クラブ開所へ
- ☆児童虐待撲滅への取り組み
- ☆民間活力導入も視野に入れた保育園待機児童解消に向けて
- ☆休日や夜間の小児科・救急診療体制の整備

- ☆不妊治療補助に向けての推進
- ☆適切な乳がん・子宮がん検診内容の充実
- ☆母子保健制度の充実
- ☆男女共同参画社会の更なる推進
- ☆南街交番の東大和市駅前移転の早期実現
- ☆消防団活動充実のための積極的支援
- ☆交通安全対策の充実
- ☆自治会を中心とした自主防災システムの確立
- ☆市役所土曜開庁の更なる充実
- ☆ちよこパスの芋窪地区への乗り入れと運行ルートの適切化と近隣市との連携
- ☆都市計画道路の整備促進
- ☆交通弱者への移動手段の確保
- ☆南街大通り地区の溢水対策と地下貯留池整備の促進
- ☆中・小商工業者への助成策推進
- ☆都市農業育成と市民農園の整備
- ☆地産地消の推進
- ☆狭山丘陵の自然を生かした観光資源の確立
- ☆市内自然保護団体を一括した自然保護ネットワークの設立
- ☆児童公園の充実と遊具の整備
- ☆郷土美術園開園と学芸員の増員
- ☆市民合意の上での慎重な三市共同資源化施設建設の再検討
- ☆総合福祉センター建設計画の大幅な見直し
- ☆今年も引き続き市民目線で発言・行動します！

公明党



お 大 信 信



さ い 村 明 美

公明党は「大衆とともに」との 原点から出発します

今、未曾有の世界同時金融危機といわれるような経済危機にあって、困難な状況であればあるほど、政治の果たすべき役割が求められている時代はありません。定額減税(定額給付金)の実施や中小企業の資金繰り支援、雇用対策、住宅ローン減税の拡充など、



なか けん 建 二



み 谷 一 彦



しも だ 条 学

切実なご意見ご要望に対して、どこまでお応えできるか、真面目に誠実に真剣に働いてまいります。当市においては、困難な財政状況を乗り越え、市民生活を守るために、「元氣な東大和再生プラン」を取りまとめ、職員給与の減額や予算総額の削減など、本格的な行財政改革に取り組んでいます。市財政は、景気の低迷によってますます厳しい状況ではありますが、これまで以上に民間活力の導入を図り、人件費の抑制に取り組みを進める必要があり、公明党は、以下の六項目の重点

- ◆ごみゼロプランの推進◆狭山丘陵、多摩湖、野火止用水などの自然環境を保全
- ◆安心・便利・快適なまちづくりを推進します
- ◆ちよこパス運行ルートの拡充と増便◆商店街の空き店舗対策など
- ◆商工業の活性化と都市農業の振興◆駅周辺の駐輪場の確保◆公共施設のパリアフリー化◆多摩湖の観光事業の推進と駐車場の整備

日本共産党

みなさんと一緒に 希望ある年にしましょう

昨年は、アメリカ発の金融危機が、世界経済を混乱させ、日本経済を深刻な状態にさせました。アメリカをまねた新自由主義的な改革をすすめた小泉「構造改革」は、極端な金融の自由化と規制緩和をすすめ、社会保障費の自然増分を削減し、医療・介護・生活保護等を後退させました。国民の審判を受けないまま麻



の 野 孝 吉



い ち 川 洋 一



い ち せき 利 一

生内閣が誕生しましたが、政治・経済の見通しがたないばかりか、三年後には消費税値上げを發表するなど、国民のくらしは暗くなるばかりです。私たちは、国の悪政から市民生活を守るため全力でがんばります。東大和市では、学校耐震化を前進させ、平成23年度までに小・中学校の耐震化を完了させる計画

- 労働者の待遇改善 都市農業の振興 中小商工業施策の拡充
- 平和・環境 憲法第九条を守る
- 平和事業拡大 広島市の平和式典への市民派遣 水害対策 住環境を守る 都営住宅の増設 警視庁の未利用地とグラウンドの市民開放 狭山丘陵の保全 三市共同リサイクル施設は環境被害等の懸念を払拭し、ますますすすめさせない

新政会



むら 庄 一郎



かす 谷 洋 右

激動の時代こそ市民との協働で 誠実に、着実に、暮らして安心を

昨年は、石油などの資源、食糧価格の高騰、サブプライムローン破綻にはじまる金融危機等、世界のありさまを変える事態が続きました。まさに百年に一度の大嵐が吹きまわりました。そんな時代において新政会は、市民との協働で確かな市政

- 安心・安全なまちを築くため本年も次の施策の実現に向け全力で取り組んでまいります。
- (1)財政(迫られる発想の転換)
- 行政改革、指定管理者制度の活用と支援、市民参加型の運営
- (2)教育(子ども学び場の強化)
- 校舎の耐震化、教育ボランティア制度、教育環境の充実
- (3)福祉(少子化の未来と高齢社会) 子育て支援の充実、医療制度の強化、健康増進、児童福祉対策
- (4)防災、防犯(災害に強いまち) 各施設の耐震化、要援護者対策
- 児童・生徒に対する防犯対策強化
- (5)商工業(潜在力の利用と強化) 商工業施策の拡充・活性化、商店会の活性化対策、雇用促進
- (6)環境 循環型リサイクルシステムの確立、狭山丘陵の保全、ごみ減量化
- (7)都市農政(食の安全と経営) 地産地消の推進、地域密着農業の確立、生産緑地の推進と環境整備
- (8)都市整備(計画道路の整備促進) 交通網の整備(ちよこパスの全地域延伸)、狭道道路の整備促進
- (9)生活安全条例の制定と電子自治体への推進

民主党



ご 后 治 雄 大

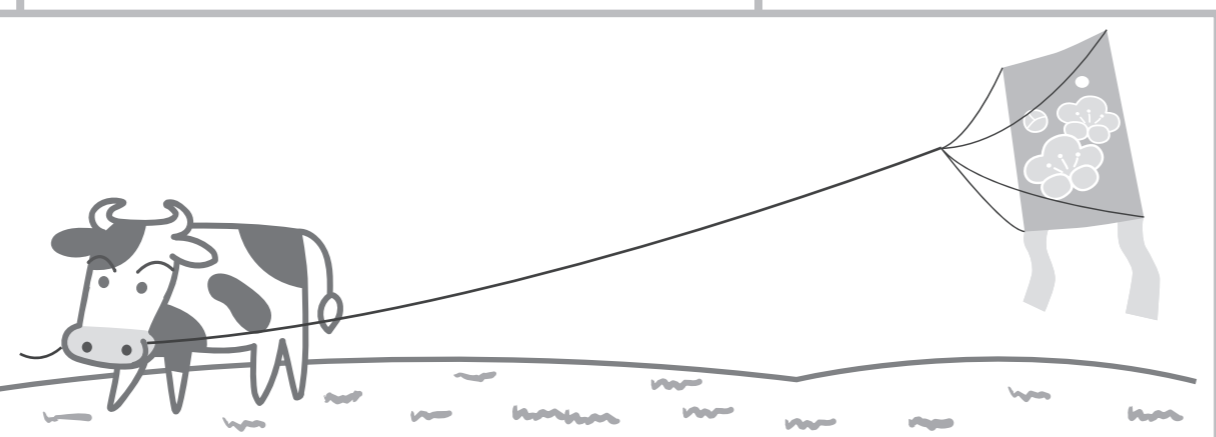


みや 由 子 二

市政迷走の解決に向けて

改選より二度目の新年を迎えました。この間、多くのご意見や励ましを頂戴し、活動してまいりました。本年も市民の皆様と同じ視点に立ち、ご負担にお応えできるよう、努力してまいります。昨年も市長の都議選出馬問題を

- 始め、国保予算の否決、暫定リサイクル施設の違法建築問題や(仮称)総合福祉センター建設に関する迷走等の問題が続出、今なお多くが未解決です。また、年金問題や新銀行東京の問題等、国政や都政にも多くの課題が山積みです。
- 私たちが民主党は、こうした現状を打破すべく、国会や都議会、他自治体の党所属議員、そして、市民の皆様と連携・連帯して市政改革を進めるとともに、今後、も沢山の提言や主張をしてまいります。
- (私たちの基本姿勢)
- ☆税金のむだ遣いの徹底チェック
- ・さらなる行財政改革の推進
- ☆議会改革の推進
- ☆地域密着型介護サービスの整備
- ☆子育て支援の充実
- ☆災害弱者支援対策の強化
- ☆学校・公共施設の耐震化促進
- ☆備蓄コンテナ設置場所の拡大
- ☆新型インフルエンザ対策の整備
- ☆いじめ・不登校対策強化とスクールカウンセラー全小学校配置
- ☆少人数学習指導員の配置拡大
- ☆都市農業を守り地産地消の推進
- ☆商店街活性化対策の強化
- ☆リサイクルとごみ減量化の推進



新春を迎えて 今年の抱負

(各党派内の写真は上から
議席順に掲載しています。)



政策の会

財政危機！市政は計画を一旦中止し、 全体の見直しを！

政策の会を結成して二年目。会派の結成にあたり関野・小林とも市民の目線と民間的経営感覚を基に政策主導の議会運営を行ってまいりました。これまでも、市役所の土曜開庁・ハミングホール民間会社での運営・市民共助の駅前情報コーナーでの防犯活動などを実現しました。今年は、昨年から起



せきの 野 杜 成



こばやし とも ひさ

を因って行くべきと考えます。
(取り組むこと)

- 総合福祉センター建設の凍結
- 三市共同資源化施設リサイクルセンターの見直し
- 全小学校の空き教室の利用推進
- 市民センター等の市民団体による運営
- ゴミの有料化(低所得者対策を

含める)

- 保健センター再移設の取り止めと残地売却
- 学校校庭芝生化の推進
- 市民部の総合窓口の導入
- 児童・通学路の安全対策の強化
- 地域コミュニティ強化・支援助うぞ本年もよろしくお願い致します。

無所属



かすや くみ 子

地域力を生かした まちづくりを！

食、エネルギー、環境と様々な問題が昨年も世界中で起こり、金融危機の影響を案じながら年を越しました。年が変わっても不安材料は後を断ちません。

- 地球環境も視野に入れ、地域に必要な仕組みづくりをすすめ今年も議会へ提案していきます。
- 防災計画に女性の視点を取り入れ、災害に強いまちをつくる
- 緑地の保全や河川を自然な浄化力を生かしたものにしていいため市民参加をすすめる
- 食の安全を守る
- 都市農業を守るための多様な担い手の育成
- 男女共同参画の推進
- 子ども居場所づくりは子ども参加です
- 周産期から終末期まで地域で支える福祉のまちづくり
- ごみの減量、リサイクルの推進
- 地域コミュニティの活動支援
- 大事なことは市民が決める

無所属



ながせ りつ 子

市政に必要な 市民の監視の目

新しい年が始まりました。世界的な金融危機が国の経済に大きな影響を与えています。様々な余波が、これからもっと市の財政に及んでくるものと思われれます。

「市の財政は赤字だから大丈夫だ」が一転して「財政が厳しい」と今頃になって言い出したところで、その体質は変わっておらず、施策の見直しも中途半端なものになっているのが現状だと言わざるを得ません。こんな状況でいつまで続けていけると思っているのか、納税者の市民の皆さん、どうか目を市政に向けて下さい。そして自分たちが納めた税金が、どこでどのように使われているのか、無駄な支出はないのか、しっかりと監視して下さい。もちろん、私たち議員も、議会が持つ権能をフルに活用して、本来の議会の仕事・議員の仕事とは何かを、いつも念頭に市民とともに歩む、開かれた議会活動、議員活動に努めます。

無所属



もり た けん じ

ユニバーサルデザインの まちづくりを

旧年、会派を離脱して無所属(自民党籍)での活動になりましたが、責任ある姿勢に変わりはありません。今、何をすればよいのか、現状

を直視し、市民生活の向上、安心・安全なまちづくりを、今年も押し進めてまいります。
現在の財政状況を踏まえた場合、基本構想、基本計画、実施計画をどう進めていけばよいのか、多くの難問が山積されています。
地球温暖化による影響と考えられる現象が世界で起きています。市の実態把握や環境教育などを行い、市民の皆様にも理解をいただき、市と協働により防止対策を考えていく必要があると考えています。
市内には、ハード面だけをとっても、高齢者や要援護者の方々に利用上とても厳しい施設が多くあります。市独自のユニバーサルデザインを念頭に置いた地域計画策定を推進してまいります。

平成20年を振り返る

- | | | |
|---------|-------------|---------------|
| 第1回臨時議会 | 開催期間 2月13日 | 議案提出案件 三件 |
| ○市長提出案件 | 六件 | ○議会人事案件 二件 |
| ○市長提出案件 | 六件 | ○一般質問 十六名 |
| 第1回定例会 | 開催期間 3月3日から | 第3回定例会 |
| ○市長提出案件 | 三十四件 | 開催期間 9月2日から |
| ○議員提出案件 | 四件 | ○選挙 一件 |
| ○一般質問 | 十六名 | ○市長提出案件 |
| 第2回臨時議会 | 開催期間 3月28日 | 二十五件 |
| ○市長提出案件 | 二件 | ○議員提出案件 |
| ○議員提出案件 | 二件 | 四件 |
| ○一般質問 | 十六名 | ○一般質問 |
| 第2回定例会 | 開催期間 6月3日から | 第4回定例会 |
| ○市長提出案件 | 十五件 | 開催期間 12月2日から |
| ○市長提出案件 | 十五件 | 12月16日までの十五日間 |
| ○議員提出案件 | 四件 | ○市長提出案件 |
| ○一般質問 | 十六名 | 二十一件 |
| | | ○議員提出案件 |
| | | 四件 |
| | | ○一般質問 |
| | | 十六名 |

ホームページで議事録を閲覧できます

定例会、臨時会、常任委員会、予算特別委員会、決算特別委員会の議事録が閲覧できます。

